

プッシュメールの例 (抜粋)

以下のプッシュメール例 (●)、メール中で示されたリンクの表示例、
(←) をクリックした場合の表示例 (一部)

医薬品・医療機器等安全性情報	1
使用上の注意改訂指示通知 (医薬品)	4
使用上の注意改訂指示通知 (医療機器)	7
自主点検通知	10
医薬品安全対策情報 (DSU)	13
PMDA 医療安全情報	16
回収情報 (クラス I 医薬品 (輸血用血液製剤等))	19
回収情報 (クラス I 医療機器)	22
承認情報 (医療用医薬品)	27
承認情報 (医療機器)	31
安全対策関係通知等	34、38

●医薬品・医療機器等安全性情報










医薬品医療機器総合機構です。

本日「医薬品・医療機器等安全性情報」(No. 273, 2010年10月26日付)が発出されましたのでご案内いたします。

「医薬品・医療機器等安全性情報」は当機構ウェブサイト
(http://www.info.pmda.go.jp/iyaku_anzen/anzen2010.html)でご覧いただけます。

医薬品・医療機器等安全性情報

平成22年度(No.268-)

年月日	No.	目次	参考	日本語版	英語版
 平成22年10月26日	273	1. 医薬品副作用被害救済制度・生物由来製品感染等被害救済制度について 2. 平成21年シーズンの新型インフルエンザ予防接種後副反応報告のまとめについて 3. 重要な副作用等に関する情報 【1】インフルエンザHAワクチン, A型インフルエンザHAワクチン(H1N1株), 乳濁A型インフルエンザHAワクチン(H1N1株), 乳濁細胞培養A型インフルエンザHAワクチン(H1N1株) 【2】サリドマイド 4. 市販直後調査の対象品目一覧 (参考資料) 1. 平成21年度の季節性インフルエンザワクチンによる副作用の報告等について(ワクチン副反応検討会の結果)			←
 平成22年9月29日	272	1. ビスホスホネート系薬剤による顎骨壊死・顎骨骨髓炎に係る安全対策に至る検討状況と対策について 2. 使用上の注意の改訂について(その219) アミトリプチリン塩酸塩他(16件) 3. 市販直後調査の対象品目一覧			
平成22年7月28日	271	1. 電気手術器用バイポーラ電極の取扱い時の注意について 2. 重要な副作用等に関する情報 【1】オルメサルタンメドキシミル, オルメサルタンメドキシミル・アゼルニジピン, テルミサルタン, テルミサルタン・ヒドロクロロチアジド, バルサルタン, バルサルタン・アムロジピンベシル酸塩, バルサルタン・ヒドロクロロチアジド 【2】抑肝散 3. 使用上の注意の改訂について(その218) フェニトイン他(5件) 4. 市販直後調査の対象品目一覧			
平成22年6月30日	270	1. TNF拮抗薬と悪性腫瘍との関連性について 2. 重要な副作用等に関する情報 【1】デフェラシロクス 【2】フロセミド 3. 使用上の注意の改訂について(その217) オキシトシン他(21件) 4. 市販直後調査の対象品目一覧 (参考資料) 1. 適正使用情報提供状況確認等事業について			
		1. 薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業について			

医薬品・医療機器等 安全性情報

Pharmaceuticals
and
Medical Devices
Safety Information

No. 273

目次

1. 医薬品副作用被害救済制度・生物由来製品感染等被害救済制度について	3
2. 平成21年シーズンの新型インフルエンザ予防接種後副反応報告のまとめについて	11
3. 重要な副作用等に関する情報	17
■ インフルエンザ HA ワクチン, A 型インフルエンザ HA ワクチン (H1N1 株), 乳濁 A 型インフルエンザ HA ワクチン (H1N1 株), 乳濁細胞培養 A 型インフルエンザ HA ワクチン (H1N1 株)	17
■ サリドマイド	22
4. 市販直後調査の対象品目一覧	25
参考. 平成21年度の季節性インフルエンザワクチンによる副作用の報告等について (ワクチン副反応検討会の結果)	28

この医薬品・医療機器等安全性情報は、厚生労働省において収集された副作用等の情報をもとに、医薬品・医療機器等のより安全な使用に役立てていただくために、医療関係者に対して情報提供されるものです。
医薬品・医療機器等安全性情報は、医薬品医療機器情報提供ホームページ (<http://www.info.pmda.go.jp/>) 又は厚生労働省ホームページ (<http://www.mhlw.go.jp/>) から入手可能です。

平成22年(2010年)10月

厚生労働省医薬食品局

●連絡先

☎100-8916 東京都千代田区霞が関1-2-2

厚生労働省医薬食品局安全対策課

☎ { 03-3595-2435 (直通)
03-5253-1111 (内線) 2755, 2750, 2751
(Fax) 03-3508-4364

●使用上の注意の改訂指示通知（医薬品）

医薬品医療機器総合機構です。

今般、「使用上の注意の改訂指示（医薬品）」（2010年10月12日指示分）が発出されましたのでご案内いたします。

「使用上の注意の改訂指示（医薬品）」は、医薬品医療機器情報提供ホームページ（<http://www.info.pmda.go.jp/kaitei/kaitei2010.html>）でご覧いただけます。

平成22年度指示分

平成22年度指示分

年月日	医薬品名
<p>New 平成22年10月26日</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 荊芥連翹湯 二朮湯 2. 竜胆瀉肝湯 3. アリスキレンフマル酸塩 4. ラモセトロン塩酸塩(経口剤2.5μg、5μg) 5. イミダフェナシン 6. イットリウム(⁹⁰Y)イブリツモマブチウキセタン(遺伝子組換え) インジウム(¹¹¹In)イブリツモマブチウキセタン(遺伝子組換え) 7. ソラフェニプトシル酸塩 8. バンコマイシン塩酸塩(眼科用剤) 9. イトラコナゾール 10. 一般用医薬品 荊芥連翹湯 二朮湯 11. 一般用医薬品 竜胆瀉肝湯
<p>New 平成22年10月12日</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. リラグルチド(遺伝子組換え) 2. ケトプロフェン(クリーム剤) 3. ケトプロフェン(ゲル剤、ローション剤) 4. ケトプロフェン(テープ剤、パップ剤) 5. 一般用医薬品 ケトプロフェンを含有する製剤(外皮用剤)
	<ol style="list-style-type: none"> 1. ゴセレリン酢酸塩(1.8mg) 2. ゴセレリン酢酸塩(3.6mg) 3. ゴセレリン酢酸塩(10.8mg) 4. リュープロレリン酢酸塩 5. コハク酸ソリフェナシン 6. アルグルコシダーゼアルファ(遺伝子組換え) 7. アダリムマブ(遺伝子組換え) 8. ペメトレキセドナトリウム水和物 9. エルロチニブ塩酸塩 10. ゲフィチニブ 11. ビカルタミド フルタミド 12. アルプラゾラム ジアゼパム(経口剤) ニトラゼパム ハロキサゾラム 13. エスタゾラム ニメタゼパム プロチゾラム



[<<ホーム<<カテゴリのトップページへ](#)

使用上の注意改訂情報 (平成22年10月12日指示分)

249 その他のホルモン剤

1.【医薬品名】リラグルチド(遺伝子組換え)

【措置内容】以下のように使用上の注意を改めること。

[重要な基本的注意]の項に

「本剤はインスリンの代替薬ではない。本剤の投与に際しては、患者のインスリン依存状態を確認し、投与の可否を判断すること。インスリン依存状態の患者で、インスリンから本剤に切り替え、急激な高血糖及び糖尿病性ケトアシドーシスが発現した症例が報告されている。」

を追記する。

〈参考〉医薬関係者に対して速やかに適正使用情報を提供すること。

264 鎮痛、鎮痒、収斂、消炎剤

2.【医薬品名】ケトプロフェン(クリーム剤)

【措置内容】以下のように使用上の注意を改めること。

[禁忌]の項の「チアプロフェン酸、スプロフェン、フェノフィブラート及びオキシベンゾンに対して過敏症の既往歴のある患者」の記載を

「チアプロフェン酸、スプロフェン、フェノフィブラート並びにオキシベンゾン及びオクトクリレンを含有する製品(サンスクリーン、香水等)に対して過敏症の既往歴のある患者」

と改め、

「光線過敏症の既往歴のある患者」

を追記し、[重要な基本的注意]の項の光線過敏症に関する記載を

「光線過敏症を発現することがあるので、使用中は天候にかかわらず、戸外の活動を避けるとともに、日常の外出時も、本剤塗布部を衣服、サポーター等で遮光すること。なお、白い生地や薄手の服は紫外線を透過させるおそれがあるので、紫外線を透過させにくい色物の衣服などを着用すること。また、使用後数日から数ヵ月を経過して発現することもあるので、使用後も当分の間、同様に注意すること。異常が認められた場合には直ちに本剤の使用を中止し、患部を遮光し、適切な処置を行うこと。また使用後は手をよく洗うこと。」

と改め、[適用上の注意]の項に新たに「使用方法」として

●使用上の注意の改訂指示通知（医療機器）

医薬品医療機器総合機構です。






今般「使用上の注意の改訂指示」（医療機器）（2009年9月24日指示分）が発出されましたのでご案内いたします。

「使用上の注意の改訂指示」（医療機器）は当機構ウェブサイト（<http://www.info.pmda.go.jp/mdevices/md-kaitei.html>）でご覧いただけます。

使用上の注意の改訂指示通知

厚生労働省が医療機器の企業などに指示した、医療機器を使用する上での新たな注意事項。関係する医療機器の企業は、この通知に基づき添付文書や取扱説明書を改訂する。

厚生労働省から医療機器の企業などに対して出された使用上の注意の改訂指示通知の内容を掲載します。

通知番号等	表題
平成21年9月24日 薬食安発0924第3号 薬食機発0924第2号 厚生労働省医薬食品局安全対策課長 厚生労働省医薬食品局審査管理課 医療機器審査管理室長 各都道府県衛生主管部(局)長 宛	 血液浄化療法に用いる血液回路に係る添付文書の改訂指示等について  (参考)血液浄化療法における血液回路の接続部位のルーアロック化について(周知依頼)
平成21年9月24日 医政総発0924第3号 薬食安発0924第5号 薬食機発0924第4号 厚生労働省医政局総務課長 厚生労働省医薬食品局安全対策課長 厚生労働省医薬食品局審査管理課 医療機器審査管理室長 各都道府県衛生主管部(局)長 宛	 X線診断装置等と植込み型心臓ペースメーカー等の相互作用に係る「使用上の注意」の改訂指示等について
平成20年11月17日 薬食審査発第1117005号 薬食安発第1117003号 厚生労働省医薬食品局審査管理課長 厚生労働省医薬食品局安全対策課長 各都道府県衛生主管部(局)長 宛	 インスリンペン型注入器等と注入用針の組合せ使用に係る「使用上の注意」の改訂等について
平成20年10月6日 薬食安発第1006002号 薬食機発第1006002号 厚生労働省医薬食品局安全対策課長 厚生労働省医薬食品局審査管理課 医療機器審査管理室長 各都道府県衛生主管部(局)長 宛	 尿管ステントに係る添付文書の改訂指示等について
平成20年2月27日 薬食安発第0227002号 厚生労働省医薬食品局安全対策課長 ボストン・サイエンティフィックジャパン株式会社 代表取締役社長 モーリック・ナナバティ 宛	薬剤溶出型冠動脈ステントの添付文書の改訂指示等について



薬食安発0924第3号
薬食機発0924第2号
平成21年9月24日

各都道府県衛生主管部（局）長 殿

厚生労働省医薬食品局安全対策課長

厚生労働省医薬食品局審査管理課
医療機器審査管理室長

血液浄化療法に用いる血液回路に係る添付文書の改訂指示等について

血液透析、血液濾過、血漿交換等の血液浄化療法において、血液回路の接続部位が外れたことにより、血液が漏出するなどの事故事例が知られております。

血液浄化療法時の血液回路の接続部位での接続の確実性と標準化を図るため、これまでに厚生労働科学研究においてや関係学会又は職能団体が作成した指針等において、各接続部位にはルアーロック式（ねじ込み式）とすることが示されているところです。

今般、接続部位外れを防止するために、日本医療器材工業会は、血液回路の血液漏出のリスクが高い接続部位をルアーロック式の製品へ統一化し、スリップイン式（差し込み式）の製品については、順次ルアーロック式の製品に切り替えることとなりました。

については、血液浄化療法に用いる血液回路を扱う貴管下製造販売業者に対し、ルアーロック式の製品への統一を図り、下記のとおり添付文書の改訂等を行うとともに、医療機関への情報提供の徹底を指導いただくよう願います。

なお、別添のとおり、各製造販売業者の代表者に対しては、既に通知済みであることを申し添えます。

記

- 1 血液浄化療法に用いる血液回路の添付文書の「警告」欄に以下のとおり追記すること。
ただし、2)の「ただし書き」については、血液漏出等を防止できるアクセスポートを有する場合のみ記載すること。



●自主点検通知

医薬品医療機器総合機構です。

今般、自主点検通知「電気手術器用バイポーラ電極の取扱いに係る自主点検等について」（2010年6月9日、薬食安発0609第3号、薬食機発0609第1号）が発出されました。

「自主点検通知」は当機構ウェブサイト
（<http://www.info.pmda.go.jp/mdevices/md-tenken-2010.html>）でご覧いただけます。

平成22年度指示分

通知番号等	表題
平成22年6月9日 薬食安発0609第3号 薬食機発0609第1号 厚生労働省医薬食品局安全対策課長 厚生労働省医薬食品局審査管理課医療機器審査管理室長 各都道府県衛生主管部(局)長 宛	 電気手術器用バイポーラ電極の取扱いに係る自主点検等について(PDF形式)  (参考)電気手術器用バイポーラ電極の取扱いについて(周知依頼)(PDF形式)



薬食安発0609第3号
薬食機発0609第1号
平成22年6月9日

各都道府県衛生主管部（局）長 殿

厚生労働省医薬食品局安全対策課長

厚生労働省医薬食品局審査管理課
医療機器審査管理室長

電気手術器用バイポーラ電極の取扱いに係る自主点検等について

電気手術器のバイポーラ（双極）電極のコードには、固定形φ4mmプラグ（以下「固定形プラグ」という。）と二股φ4mmプラグ（以下「フライングリード」という。）があり、これら二種類のプラグのバイポーラ電極用コードが使用されております。

これらのうち、フライングリードについては、モノポーラ（単極）電極の出力端子への誤接続による事故の可能性があることから、平成16年9月24日付け薬食審査発第0924006号・薬食安発第0924004号厚生労働省医薬食品局審査管理課長・安全対策課長連名通知「バイポーラ電極を有する電気手術器に係る自主点検等について」により、フライングリードをモノポーラ電極用の出力端子には接続しない旨等の添付文書への記載や医療機関への情報提供を製造業者等に依頼していたところです。

しかしながら、フライングリードをモノポーラ電極用の出力端子に誤って接続したことにより、意図せずに通電し、熱傷を来した事例が、財団法人日本医療機能評価機構の「医療事故情報収集等事業第17回報告書」において報告されております。

また、国際電気標準会議（IEC）の電気手術器に関する規格では、バイポーラ電極用コードは、固定形プラグとすることとされており、日本工業規格（JIS）においても、IECの規格に合わせるよう改訂される予定です。

そこで、同様の事故の発生を防止するため、貴管下の電気手術器及びバイポーラ電極用コードの製造販売業者に対し、下記のとおり、自主点検を行い、フライングリードの販売中止並びに電気手術器及び固定形プラグのバイポーラ電極用コードの添付文書の改訂等について、指導方お願いします。

なお、別添のとおり、各製造販売業者の代表者に対しては、既に通知済みであることを申し添えます。

●DSU（医薬品安全対策情報）

医薬品医療機器総合機構です。

今般「医薬品安全対策情報(DSU)」(No. 193, 2010年10月)が掲載されましたのでご案内いたします。

DSUは当機構ウェブサイト

(http://www.info.pmda.go.jp/dsu/dsu_index.html)でご覧いただけます。

「医薬品医療機器情報配信サービス」にご登録いただくとDSU(医薬品安全対策情報)の掲載と同時にお知らせいたします。クリックして登録！



DSU(医薬品安全対策情報)

医薬品を使う上での新たな注意事項について、製薬業界が取りまとめた情報表示したい情報を選択して下さい。本文についてはPDF形式でご覧いただけます。

DSU一覧

年月	No.	品目一覧	本文(PDF形式)
2010年10月	No.193	品目一覧	本文
2010年9月	No.192	品目一覧	本文
2010年7月	No.191	品目一覧	本文
2010年6月	No.190	品目一覧	本文
2010年5月	No.189	品目一覧	本文
2010年4月	No.188	品目一覧	本文
2010年3月	No.187	品目一覧	本文
2010年2月	No.186	品目一覧	本文
2009年12月	No.185	品目一覧	本文
2009年11月	No.184	品目一覧	本文
2009年10月	No.183	品目一覧	本文
2009年8月	No.182	品目一覧	本文
2009年7月	No.181	品目一覧	本文
2009年6月	No.180	品目一覧	本文 追補
2009年5月	No.179	品目一覧	本文
2009年4月	No.178	品目一覧	本文
2009年3月	No.177	品目一覧	本文
2009年1月	No.176	品目一覧	本文
2008年12月	No.175	品目一覧	本文
2008年11月	No.174	品目一覧	本文
2008年10月	No.173	品目一覧	本文
2008年9月	No.172	品目一覧	本文
2008年7月	No.171	品目一覧	本文
2008年6月	No.170	品目一覧	本文



DRUG SAFETY UPDATE

医薬品安全対策情報

—医療用医薬品使用上の注意改訂のご案内—

編集・発行 日本製薬団体連合会

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町3-4-18

FAX 03-5201-3590

禁無断転載

No.192 (2010.9)以降、下記医薬品の「使用上の注意」が改訂されましたので、改訂内容及び参考文献等をお知らせします。詳細についてのお問い合わせは当該企業にお願いいたします。



最重要



重要



その他

重要

その他のホルモン剤 249	
■ゴセレリン酢酸塩 (1.8mg)	4
■ゴセレリン酢酸塩 (3.6mg)	4
■ゴセレリン酢酸塩 (10.8mg)	4
■リユープロレリン酢酸塩	5
その他の泌尿生殖器官及び肛門用薬 259	
■コハク酸ソリフェナシン	5
酵素製剤 395	
■アルグルコシダーゼアルファ (遺伝子組換え)	5
他に分類されない代謝性医薬品 399	
■アダリムマブ (遺伝子組換え)	5
代謝拮抗剤 422	
■ベメトレキセドナトリウム水和物	6
その他の腫瘍用薬 429	
■エルロチニブ塩酸塩	6
■ゲフィチニブ	6
■サリドマイド	7
■ビカルタミド	7
■フルタミド	7
ワクチン類 631	
■インフルエンザHAワクチン	8
■A型インフルエンザHAワクチン (H1N1株)	8
■乳濁A型インフルエンザHAワクチン (H1N1株)	8
■乳濁細胞培養A型インフルエンザHAワクチン (H1N1株)	8

その他

催眠鎮静剤、抗不安剤 112	
■アルプラゾラム	9
■アルプラゾラム	9
■エスタゾラム	9
■エスタゾラム	10
■オキサゾラム	10
■クアゼパム	11
■クロキサゾラム	10
■クロキサゾラム	12
■クロラゼパ酸二カリウム	10
■クロラゼパ酸二カリウム	12
■クロルジアゼポキシド	12
■クロルジアゼポキシド	13
■ジアゼパム (経口剤)	13
■ジアゼパム (経口剤、注射剤)	13
■ジアゼパム (注射剤)	14
■ジアゼパム (坐剤)	14
■デクスメデトミジン塩酸塩	15
■トフィソパム	11
■トフィソパム	16
■トリアゾラム	16
■ニトラゼパム	17
■ニトラゼパム	17
■ニメタゼパム	17
■ニメタゼパム	18
■ハロキサゾラム	12
■ハロキサゾラム	18
■プラゼパム	11
■プラゼパム	18

●PMDA 医療安全情報

医薬品医療機器総合機構です。

今般、「PMDA 医療安全情報 No. 19 (カリウム (K) 製剤の誤投与について)」
が
掲載されましたのでご案内いたします。

PMDA 医療安全情報 No. 19 は医薬品医療機器情報提供ホームページ
(http://www.info.pmda.go.jp/anzen_pmda/file/iryo_anzen19.pdf) で
ご覧いただけます。

また、本号を含む今までに掲載された PMDA 医療安全情報は医薬品医療機
器情報提供ホームページ

(http://www.info.pmda.go.jp/anzen_pmda/iryo_anzen.html) でご覧
いただけます。

PMDA医療安全情報

PMDA医療安全情報について

「PMDA医療安全情報」で提供する情報は、これまでに収集されたヒヤリ・ハット事例や副作用・不具合報告の中から、同様の事象が繰り返し報告されている事例若しくは添付文書改訂等を通知した事例などについて、総合機構が医師・薬剤師・看護師・臨床工学技士等の医療従事者や人間工学分野などの専門家及び医薬品又は医療機器製造販売業者の業界団体の意見を参考として、医療従事者に対して安全に使用するために注意すべき点などを図解等を用いてわかりやすく解説し、広く周知することを目的に作成したものです。

ご不明な点などありましたら、PMDA医療安全情報に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。



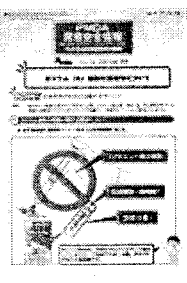





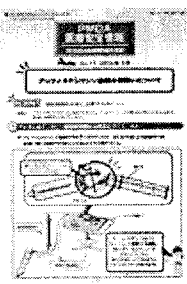
PMDA医療安全情報の利用について

次の場合を除き、無断で複製、転載、頒布する等の行為を禁じます。

- 自らが所属する医療機関、薬局、学会、団体等において使用する場合
- PMDA医療安全情報に関する医薬品、医療機器を製造販売する企業が使用する場合

PDFファイルの閲覧方法

PMDA医療安全情報

No	発行年月日	タイトル		1枚目のイメージ
19	 平成22年 9月	 カリウム(K)製剤の誤投与について	-	
18	平成22年 6月	 微量採血のための穿刺器具による採血時の注意について	 英語版 はこちら	
17	平成22年 5月	 プレフィルドシリンジ製剤の取扱いについて	 英語版 はこちら	



PMDA 医療安全情報

(独)医薬品医療機器総合機構

pmda No.19 2010年 9月

カリウム (K) 製剤の誤投与について

POINT 安全使用のために注意するポイント

(事例 1) 高カロリー輸液に混注する予定のリン酸二カリウム補正液 (20mL) を、別に指示されていた薬剤の溶解液 (5%ブドウ糖 (20mL)) と勘違いし、側管からワンショット静注してしまった。

1 カリウム製剤の取扱い時の注意点について

- 必ず投与前に薬剤のラベルや投与方法を再確認すること。

ワンショット静注禁忌

点滴専用 (要希釈)

誤認注意!

カリウム製剤は、希釈せずにワンショット静注してしまうと、不整脈や心停止を起こすおそれがあり大変危険です。

点滴専用 (要希釈)
K⁺ 20mEq, HPO₄⁻ 20mEq
Pとして10mmol
20mL
リン酸二カリウム
希釈液 1mEq/mL
注意 (必ず希釈)
リン酸二カリウム 1.74g
注意 - 添付書の投与方法により
使用すること
株式会社大塚製薬工場
岐阜県岡崎市瑞穂町立石字野原115

●回収情報（クラス I 分 医薬品（輸血用血液製剤等））

医薬品医療機器総合機構です。

今般、「回収情報クラス I（医薬品）」が発出されましたのでご案内いたします。

今回の回収対象は「新鮮凍結血漿 - LR「日赤」」です。

「回収情報クラス I（医薬品）」は医薬品医療機器情報提供ホームページ（<http://www.info.pmda.go.jp/kaisyuu/rcidx10-1m.html>）でご覧いただけます。

＜＜ホーム ＜＜カテゴリのトップページへ

2010年度クラスI(医薬品)

※は血液製剤の献血後情報に基づく未使用品の回収等、「医薬品等の回収情報の提供方法に関する要領」における報道機関向けの広報についての扱いに準じ、同種他製品に不良が及ばず、かつ、当該医薬品等が使用されないことが確実な事例です。回収が終了した旨の報告がなされるまでの間、備考欄に対象ロット番号を表示しています。

番号	掲載年月日	種類	一般名	販売名	製造販売業者等名称	備考
 1-0779	2010/10/22	医薬品	人赤血球濃厚液	赤血球濃厚液-LR「日赤」	日本赤十字社	※ 対象ロット: 78-3725-0165
 1-0777	2010/10/07	医薬品	人赤血球濃厚液	照射赤血球濃厚液-LR「日赤」	日本赤十字社	※ 回収終了
 1-0776	2010/10/06	医薬品	人赤血球濃厚液	赤血球濃厚液-LR「日赤」	日本赤十字社	※ 回収終了
 1-0775	2010/09/08	医薬品	新鮮凍結人血漿	新鮮凍結血漿-LR「日赤」	日本赤十字社	※ 回収終了
1-0774	2010/08/19	医薬品	新鮮凍結人血漿	新鮮凍結血漿-LR「日赤」	日本赤十字社	※ 回収終了
1-0773	2010/08/16	医薬品	人赤血球濃厚液	照射赤血球濃厚液-LR「日赤」	日本赤十字社	※ 回収終了
1-0772	2010/07/28	医薬品	人赤血球濃厚液	赤血球濃厚液-LR「日赤」	日本赤十字社	※ 回収終了
1-0770	2010/06/28	医薬品	人赤血球濃厚液	赤血球濃厚液-LR「日赤」	日本赤十字社	※ 回収終了
1-0769	2010/06/22	医薬品	人赤血球濃厚液	照射赤血球濃厚液-LR「日赤」	日本赤十字社	※ 回収終了
1-0768	2010/06/18	医薬品	人赤血球濃厚液	赤血球濃厚液-LR「日赤」	日本赤十字社	※ 回収終了
1-0767	2010/06/16	医薬品	人赤血球濃厚液	照射赤血球濃厚液-LR「日赤」	日本赤十字社	※ 回収終了
1-0766	2010/06/14	医薬品	人赤血球濃厚液	照射赤血球濃厚液-LR「日赤」	日本赤十字社	※ 回収終了
1-0765	2010/06/10	医薬品	新鮮凍結人血漿	新鮮凍結血漿-LR「日赤」	日本赤十字社	※ 回収終了
1-0764	2010/06/10	医薬品	新鮮凍結人血漿	新鮮凍結血漿-LR「日赤」	日本赤十字社	※ 回収終了
1-0762	2010/04/23	医薬品	人赤血球濃厚液	照射赤血球濃厚液-LR「日赤」	日本赤十字社	※ 回収終了
1-0760	2010/04/19	医薬品	人赤血球濃厚液	照射赤血球濃厚液-LR「日赤」	日本赤十字社	※ 回収終了

